

step up

2025 校内研修通信

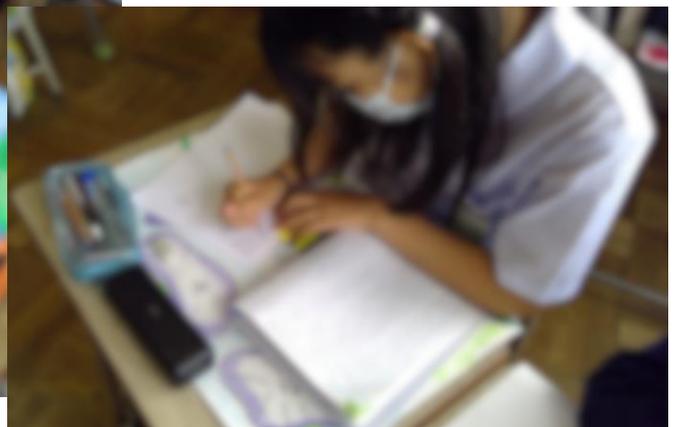
4年生図工「お話の絵を描こう」の単元でのチャレンジ授業です。本時は、自分の描いたお話の絵をもとに、想像を膨らませ、物語をつくる活動でした。

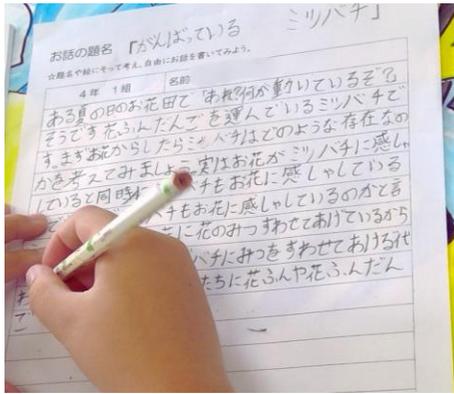
教室に入ると、子どもたちが描いたミツバチの絵が黒板に貼ってあったり、机の上に並べてあったりして、楽しい雰囲気が伝わってきました。

まず、「自分のお話を作るためには、どんなことが必要か」の意見を出しました。「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どのように」といった、お話の設定を考えるように伝えました。そして、「終わり」は、ハッピーエンドになるように、「楽しいお話を作りましょう」としました。



子どもたちは、想像したことを、どんどん書き進めていきました。この時間までに、下書きをしている子どももいて、それが、手助けになっているようでした。書く時間を 20 分間に設定しましたが、集中している姿が見られました。





本で調べた内容を、物語に書いている
 子も多くいました。
 「お花からしたら、ミツバチはどのような
 存在なのかを考えてみましょう。実は、お
 花がミツバチに感謝していると同時にミ
 ツバチもお花に感謝しているのだ
 す・・・」と書いています。

物語を書いている途中で、教室の前にあるミツバチに関係する本を取りに行き、
 確認しながら物語の続きを書く姿がありました。
 「花粉やみつを体にいっぱいつけた」と文章の途中まで書いて、本を取りに行き、
 本で確認してから、また書き始めていました。



学習の最後は、絵を見せ合いながら、物
 語を読み合い、交流しました。聞き終わ
 った後は、質問したり、共感したりするこ
 とができました。



授業者より

(良かったところ)

- ・絵を見ながら物語を作るとき、今までの学習経験を生かし、たくさんのキーワードを引き出すことができた。
- ・その言葉をヒントに意欲的に物語を書き進めていくことができた。
- ・お話の世界を楽しんで、物語を作ることができた。

(課題・反省点)

- ・このような活動の場合は、進み具合に差が生じてしまう。
- ・書き始めることを戸惑っていた児童に、ヒントカードのようなものを作ってあげればよかった。